



みんなの医療

~~~~~

No.258 2020.9.25

発行所 ちば北部健康友の会

〒263-0016

千葉市稲毛区天台1-19-11

電話・FAX

043-206-0560

~~~~~

新型コロナウイルス流行と 私の考えるところ

北部診療所 所長
秋谷 弘樹

はじめに

今年は新型コロナウイルス流行により、生命の危険はもろろのこと、どう人が社会生活を維持しながら生きていくべきか、再度考えさせられるものとなっています。新型コロナウイルスの感染拡大によって、今まで人の見えなかった日常生活や心がさらけ出されているように思います。自然災害や感染に対する行き場のないストレスを、感染者、若者、政府などの他者へ責任をぶつけ、発言者には反論し、不確かな情報を信じ、マスク・消毒薬などは買い占められていく。感染の専門家が話す内容も漠然としており、必ずしも未来が見えているとは言えず、何を信じていいのかわからなくなっているのではないのでしょうか。国家の危機管理の意識・甘さ、災害を含めて対応が後手に回るとは大変残念なことではありますが、まずは冷静に、人と人がお互いに協力していくことが求められています。

歴史

私たちは20世紀に入り、スペイン風邪、アジア風邪、ホンコン風邪、新型インフルエンザ、そして新型コロナウイルスと5度のパンデミックを経験しました。コロナウイルスについては、人に感染する7種類のコロナウイルスのうち、4種類は通常軽症の風邪として既に感染しているものですが、コウモリ由来のSARS、ヒトコブラクダ由来のMERSは重症化しました。しかし、

これらは大きなパンデミックには至らず、エボラウイルスもまた死亡率の高いウイルスでありましたが、限定的なものとなりました。

今回の新型コロナウイルスは、王冠という名に由来するスタンパクの突起を鍵として持ち、細胞上のACE2リセプターを鍵穴として結びつき細胞内部に侵入しますが、完全な遺伝情報の複製は困難であることから、同部位の変異は絶えず起こっており、それが今まで感染を引き起こさなかった生物への感染を引き起こす引き金となっています。結果として、変異・情報エラーがウイルスをより強く、自らを伝播させていく「進化」となっているといえるのであり、当然に、今後もパンデミックは起こると考えられます。決してウイルスが悪意を持って生きているというわけではなく、生存していく中での一過程に過ぎないのです。

治療について

現在、治療として、mRNA、不活化、弱毒化、組み替えタンパク質などのワクチン開発と、内服薬による治療の研究が進んでいます。コウモリでは発症しないコロナウイルスが、人間の体内でも免疫抗体が産生され、害を及ぼさなくなるのが理想です。早期のワクチン、サイトカインによる組織破壊を防止する免疫抑制薬、抗ウイルス薬の開発は副作用(ADE)の危険性もあり注意しなければなりません。現在のアビガンやレムデシビルは特効薬には至っていないのが現状です。従来の

インフルエンザワクチンにしても、感染予防効果は十分とは言えず、やはりワクチンが開発されても、個々の疾患に対する認識と防御の徹底が、同時期における感染者の増大を防ぐことになることは明らかです。

私の考えるところ

私たちは、ウイルスと戦うというのではなく、ウイルスの知識を持ち、共存、共進、共生を考えていかねばなりません。ウイルスもまた生きる価値を持って生存していると思うのです。相手を知り、ヒトという、一種が危機的な状況とならずに、上手に付き合っていくことが大切です。ウイルスはヒトにとって害であり、悪であるのでしょうか。インフルエンザウイルスや、アデノ随伴ウイルスなどのように、増殖を抑える処理を施したウイルス(ベクター)とともに、治療に用いられる遺伝情報を細胞内に送り込み、必要なタンパク質を産生させ病原ウイルスやガン細胞に対抗する治療に用いられるものもあり、また、微妙な複製エラーが種そのものの進化の獲得にも影響を与えている可能性も否定できません。免疫を獲得していくこと、複製エラーによる新たな変異・進化は私たちに与える新たな変異・進化は私たちにとって生きるためにも、種属保存のためにも必要なものとも考えられます。少なくとも、社会一般的常識として、最低限のマナーを守りながら生活(次ページにつづく)

くるしお

前回、入院中の看護師のありがたみを書き、コロナ下での医療従事者への保証を国に訴える記事を書いたが、6月末に、東京女子医大が医療従事者への夏のボーナス全額カットという記事を見て仰天した。▼その後医労連などの調べでは、ボーナス減額の病院は3割にのぼるといふ。コロナ危機の最前線で、医師・看護師が消毒液まみれ、汗まみれになって戦い、過度の疲労と自宅での感染を恐れて病院の隅や、マイカーで寝泊まりしながら、野戦病院並みの奮闘をしているのに、手当増額どころかボーナスカットという仕打ち。▼聞けば病院は基本的には自腹で経営しているので、コロナ患者を受け入れれば受け入れるほど赤字になるとのこと。安倍首相(本人も病院で治療中!)が退任演説でこの7年余、「国民のために全力を挙げて来た」と言っていたが、国を守ると言いつつ、使う予定もないF35戦闘機を爆買いしている。この費用の一部でも医療機関に回すべきだ。それが国(国民)を守るということではないだろうか。▼看護師たちのモチベーションは下がり、離職者が増えるだろう。そうになったら、戦争に備える前に国が減じる。今はとにかく医療体制確立に全力を上げるのが政治の本筋だろう。

被爆 75 周年

「核兵器のない平和で公正な世界」へ



稲毛駅頭でのスタンディング



核兵器禁止条約 批准を求め スタンディング

(1面のつづき)
活していくことが必要なのではないでしょうか。欧米に比し、アジア人が感染者数、死亡率が低い理由は明らかになってはいませんが、私たちはすでに、多くの報道、書物で、

何が感染防止に必要な知識を十分持っているはず。ウイルスとは、新型コロナウイルスだけでなく、おそろしく長く付き合うこととなり、まずは早期の安全なワクチン開発、治療を人間の知恵で生み

出し、当たり前の予防策を個々に行っていくことが重要です。全ての種が偏らずに平等に生存していくのが、薬学で微生物学教室に籍を置いていた私の考え方になります。

2017年に国連で採択された核兵器禁止条約は43カ国が批准し、発効まで残り7カ国に迫っています。

NHK広島放送局が被爆から75年にあたって行ったアンケート調査で、アメリカの若者の約7割が「核兵器は必要ない」と回答しています。又、「平和に関する意識調査」として、広島県、広島県以外の全国、アメリカの18歳から34歳を対象にしたインターネット調査によると、「核兵器」の必要性について、

ね。おいしいすいとんを幹事会の前に食べましょう。」という話になり、急きよ幹事さん対象に会議の始まる前にやることにしました。

今年には原爆投下から75年。未だ多くの方が苦しんでいます。今年には「被爆者とともに核兵器のない世界」をスローガンでの「原水爆禁止国民平和大行進」。今回は新型コロナウイルスの影響で、今までの行進はやめ、スタンディングでの行動となりました。千葉市は7月18日に千葉駅と稲毛駅で行動。その後京成八千代台駅で八千代の方に引き継ぎました。

「核兵器」の必要性について、広島県と広島県以外の全国とも約85%が「必要ない」と回答。核兵器を所有するアメリカでも70・3%が「必要ない」と答えています。また、原爆を投下したことについてアメリカ人に聞くと、「許されない」と答えた人は41・6%で、「必要な判断だった」31・3%を上回っています。

世界の流れは「核兵器はいらない」と大きく変化してきています。

当時のすいとんは、汁に自分の目玉が映ると言われたようですが、今年も「おいしい、おいしい」の声だけ。

当日は朝から大雨に見舞われましたが、友の会会員など予想以上の約40人が参加。「人間と核兵器は共存できない」「No more war!」「核兵器も戦争もない平和な世界を子どもたちに」等、思い思いの看板を持参しアピールしました。

世界で唯一の被爆国日本、この行動を引き継ぎ、政府に核兵器禁止条約批准を求める運動を広げていきましょう。

今年には、新型コロナウイルス感染対応に、住民感情を考慮し、毎年行ってきた平和行進の方法もスタンディングアピールとなりました。

北都友の会では、毎年行ってきた「すいとんだけは食べたい



幹事会前にお昼はすいとん!

今年には、新型コロナウイルス感染対応に、住民感情を考慮し、毎年行ってきた平和行進の方法もスタンディングアピールとなりました。

来年は、平和行進そして、おいしいすいとんをまたみんなで食べたいですね。



シリーズ北部診療所⑧ 看護部

皆さんこんにちは。毎日暑いですが体調崩されてないでしょうか。今回は看護部について紹介させていただきます。我が看護部は常勤看護師5名、パート看護師1名で日々の業務にあたっています。他にも応援看護師が3名、元師長の佃看護師も月に数回お手伝いに来てくれます。

看護部の仕事は午前中は外来で問診、採血点滴、検査予約、予防注射などを行います。療養の相談や助言、介護保険や往診の相談など業務に追われるだけでなく患者さんの生活背景にまで気を配れるようにしています。

看護部の仕事は午前中は外来で問診、採血点滴、検査予約、予防注射などを行います。療養の相談や助言、介護保険や往診の相談など業務に追われるだけでなく患者さんの生活背景にまで気を配れるようにしています。

午後のメインは訪問診療です。様々な理由で外来に來れない方の自宅に向いて診察をします。現在管理数70名。最後まで自宅で過ごしたいという患者さんの思いに寄り添いながら看護をしています。訪問診療の方には24時間365日連絡が取れるようにし



今年の残念

その1

今年はコロナ禍のため、予定していた行事の見通しがたないため、昨年までの行事をふり返ってみました。コロナには2年続けて負けたくない!! アマビエ様にお願いしよう。



春のバザー

会則を見てみよう!

シリーズ⑤

今回は第5条、第6条です。第5条 この会を運営するため、次の機関をおきます。

(1) 総会

(2) 幹事会

第6条 総会は毎年(臨時総会を開くことを得)会長が招集し、会の方針を立て、予算を組み、決算を承認し、幹事を選びます。

年に1回総会を開き、1年間の成果、問題点、課題をその年の方針に沿ってまとめ、それを元に翌年の方針、活動・予算を立て、総会で話し合い決定していきます。



子どもの診療所探検



盆踊り大会

薬が有効かつ安全に使われるために

てんだい薬局 北村 里絵

『泣き止まない赤ちゃん。母親の横でおじいちゃんが抱き上げ、あやすと泣き止んだ。それを見た母親は、「とてもショックだった」母親には我が子を抱く腕がない。サリドマイド薬害により、両腕がないまま生まれてきた。日本での被害者は公式発表で309人。「この体で生きてゆく自信はなかった。生きていることが幸せなのかと常に考えていた」この言葉に、被害者の生きた40年が象徴される……』

この文章は、今から約20年と少し前「薬事日報」のコラムに掲載されていたものです。当時私は薬剤師となつて8年ほどで、この文章に出会った時、薬剤師という仕事に対する責任の重さを、更に強く自分に言いかけました。

あれから20年。

薬害C型肝炎やイレッサ訴訟と薬害は絶えませんでした。それでも、再発防止を決意する目的で2000年からは8月24日を薬害根絶デーと定めさまざまな行動が行われたり、2004年、「医薬品医療機器総合機構」の設立によって、より多くの情報が手に入るように

なりました。

薬が有効に、かつ安全に使われることは、私たち医療従事者の願いでもあります。

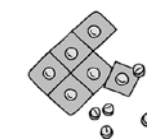
薬局では、日々の窓口での投薬や、ご自宅を訪問しての活動の中で、薬の効果だけでなく副作用にも目を配り、必要があれば病院、診療所に「情報提供」を行ない、薬が安全に使われるよう活動を行なっています。

また、これからの新しい取り組みとして「薬剤使用中の患者フォローアップ」を行なっています。

これは、窓口や訪問時だけではなく、みなさんが薬を服用している期間中、必要に応じて電話などを通して体調を確認させて頂く活動で、具体的には、薬の量が増えた(あるいは減った)、薬が変更になった、追加になった時など、アレレギーや副作用が懸念される時などです。みなさんの方からも、薬に対する疑問や不安があれば、何でも相談して下さい。

毎月第4金曜日の午後には個別相談の時間も設けてありますので、こちらも合わせてご利用頂ければと思います。

※個別相談のご予約は薬局窓口、またはお電話でうけたまわっております。



251-1102

いつでも元気 購読しませんか

カラーの記事も満載で読みやすく楽しい雑誌です。お申し込みは、友の会 or 診療所まで。

みんなの医療 いつでも元気
2020 10 月号 380 円 好評発売中

いのちの相談所 群馬
お尻の悩み
日本と朝鮮の 2000 年
まじのチカラ 長野県立科町
食と健康 食を考える
新連載 みちくさ

発行：群馬県医師会 発行所：〒113-0034 東京都文京区湯島2-4-4 平和と発展センター5階 電話 03(5642)5656(代) FAX 03(5642)5657



《毎年恒例》

おいしい

青森のりんご

今年もいかがですか？
10 月から
受付が始まります。



小川 順子 (薬剤師)

ふれあい薬局へ

職員異動

今年度インフルエンザワクチン接種について

北部診療所

今年度のインフルエンザワクチンの予約受付は、ワクチンの入荷日が決まり次第ご案内をいたします。

ワクチンの入荷数は例年発注数より少なくなっており、入荷状況によって予約受付を終了させていただく場合がございます。予めご了承ください。

千葉市は、生後6カ月以上65歳未満の市民にもインフルエンザの予防接種費用を助成すると発表しました。10月1日～12月31日までの期間で、接種費用から自己負担額1800円を除いた額で、3000円を上限に助成をします。詳細は、千葉市広報紙などでご確認ください。



卓 球

毎週 水
13 時～17 時

会 費：年 1,000 円

囲 碁

毎週 月
13 時～17 時

連絡先：石井 光善
043 (252) 0831

絵手紙

毎月第 2・4 木
10 時～12 時

会 費：1 回 100 円
連絡先：川口 京美
043 (254) 1463

サークル活動紹介
今回は3つを紹介します

友の会諸行事の これからについて

コロナ禍のもと、友の会諸行事もいくつか変更になります。非常に残念ですがご了承ください。

○「秋のバス旅行」
残念ながら中止です。

○「健康体操会」

天台は9月15日(火)から集まりを始めます。

○「お食事会」
当分の間見合わせます。

コロナ感染の様子をみながら

○「青空健康チェック」
10月ごろを考えています。

○「栄養相談コーナー」
新しい試みで10月から行ないます。

○健康会館で行なっているサークル活動は6月から再開しています。

俳 句

枇杷好きの祖父の命日枇杷熟る

楓

遙かの夏甲子園ボーイ同クラス

億久江

びびびみんみん生れたての蟬

まちこ

蟬しぐれ大樹疲れてしまいさう

定子

会費納入のお願い

年会費は本人千円、家族五〇〇円です。

友の会は会員皆様の会費で運営・活動をしています。

会費の納入は

①診療所会計窓口

②友の会事務所

③待合室友の会コーナー

などで受け付けています。

よろしく願っています。



訂 正

前号に間違いがありました。
訂正いたします。

誤	251号	2019	小川 アキ
正	257号	2020	小川 マキ

診 療 体 制

2020年9月～

都合により担当医師が変わることがあります

	月	火	水	木	金	土
午前	秋谷	秋谷	秋谷	秋谷	秋谷	1・3・5 秋谷 2・4 今本、蛸井
			花井(予約)		糖尿病(予約)	胃カメラ
午後	西村	休診		乳児健診 (第1木曜日)	休診	休診
夜間	秋谷	秋谷	秋谷	井上	宮村	

午前の受付時間は8:30～12:00、午後の受付は月曜日のみ。受付時間は第1～第3、第5週は13:30～16:00。第4週は15:30までとなります。(土曜日)秋谷医師担当日以外の小児は診察出来ない場合がございます。